

くらよし

February
2011

2

平成23年2月号

No.1392

今月の特集：倉吉の「新鮮力」今、光を浴びて



The Coming of Age ceremony
祝・成人

CONTENTS

- 平成23年倉吉市成人式 ……2～9
- インフルエンザを
 予防しよう ……10～11
- インフォメーション
 ・プラス ……12～13
- インフォメーション ……14～17
- あんしんファイル/
 レッツ！介護予防…18～19
- 出かけてみよう ……20～21
- ハート・バリアフリー ……22
- 市長コラム/シナプロ韓国 ……23
- まちかどピンナップ ……24～25
- 若者の定住に向けて/人口 ……26

倉吉の「新鮮力」

～平成23年倉吉市成人式～

今、光を浴びて

年末からの、記録的な豪雪の余波が残る1月3日(月)、平成23年倉吉市成人式が、倉吉未来中心で挙行され、新成人407人が出席しました。今年の成人式は、平成2年4月2日から平成3年4月1日までに生まれた575人が対象になりました(平成22年12月22日現在)。

対象者が生まれた平成2年から3年といえば、バブル景気の最盛期であり、秋篠宮ご夫妻のご成婚による紀子さまブームなど、日本は、華やかなムードに包まれていました。一方で、国際的には、イラクのクウェート侵攻に端を發した湾岸戦争が勃發し、国内でも、地価の下落などによるバブル崩壊の兆しが見え始め、以後、急速に変化する社会情勢の序章ともいえる年でした。倉吉市で、上北条小学校が開校し、打吹公園が「さくらの名所百選」に選ばれたのもこの年です。

それから20年。立派に成長した新成人は、倉吉市の「新鮮力」となり、倉吉未来中心に集ったのです。



旧交を温め合う

受付会場となったアトリウムには、式典の1時間以上前から鮮やかな着物やスーツに身を包んだ新成人が姿を見せ始めました。誇らしげで、それでいてちよつと照れくさそうな表情。どの顔も、とてもうれしそうです。さらに、久しぶりに再会する友人の姿を見つけると、笑顔がはじけ、歓声とともに手を取り合う輪が、あちこちでできました。

若者の熱気と鮮やかな晴れ着で、華やかな雰囲気がいっぱいあふれていました。

たくさんの人に見守られ

午後1時30分、大きくなつたわが子の姿に目を細める父母が見守る中、成人式の開式が告げられました。

国歌と市歌の斉唱の後、新成人代表馬西洋徳さんのリードで会場全員が市民憲章を唱和しました。

続いて、石田耕太郎市長が、「節目となる今日、ご両親をはじめ、多くの人に支えられ、今の自分があることに、改めて思いをはせてほしい。行政も、産業振興や子育て支援に力を入れ

て取り組んでいくので、若い感性や創造力、力強い行動力を倉吉で十分に発揮してください。将来への夢と希望を持って、情熱を燃やして歩んでください」とあいさつしました。

新成人の代表として、抱負を語ったのは、近藤華さんと松原慎吾さん。2人とも、堂々と、仲間や家族に向かって、これからの決意を述べました。近藤さんが、家族や友人への思いに感極まり、言葉に詰まった時は、会場の新成人から「頑張れ!」という温かい声援が飛んでいました。

来賓代表の福井康夫市議会議長からは、「迷いは努力の証であり、進歩するための不可欠な要素。自らの可能性を追求し、磨いていってほしい」という力強いメッセージが贈られ、保護者代表の高橋義博さんは、「大人としての義務やマナーを考え、後悔しないよう、一生懸命努力してほしい」と新成人を励ましました。新成人たちは真剣なまなざしで耳を傾けていました。

自分たちでつくる成人式

今年の成人式では、新成人による実行委員会が組織されま

した。当日の司会進行や発表は、すべてこの実行委員会が担当し、式をスムーズに進めていきました。

そして、この実行委員会による企画で、市内各中学校の恩師によるビデオレター「新成人へのメッセージ」が会場で流されました。懐かしい恩師の姿がスクリーンに映し出されると、会場にはどよめきが起こり、思ひ出話に花を咲かせていました。

ヴァイオリンの音に乗せて

このあと、倉吉市出身のソロヴァイオリニスト門脇大輔さんによる公演が行われました。門脇さんは、「成人になっても一人では成し遂げることが難しいときがある。友人や仲間など、横のつながりを大切にして、ふるさと倉吉を盛り上げてほしい」と、昨年ヒットしたドラマ「ゲゲゲの女房」の主題歌「ありがとぅ」などを演奏し、美しい音色で新成人を祝福しました。

また会う日まで

式終了後、友人との別れを惜しみながら、再会を約束し、帰途につく新成人の姿が印象に残りました。



◀平成23年倉吉市成人式実行委員ら
【前列左から】
高橋 義博さん(保護者代表)
横山 和貴さん(新成人企画進行役)
門脇 大輔さん(ソロヴァイオリニスト)
馬西 洋徳さん(市民憲章唱和)
松原 慎吾さん(新成人の抱負)
【後列左から】
水谷 あゆみさん(司会)
近藤 華さん(新成人の抱負)
松下 藍子さん(新成人企画)
小椋 礼女さん(新成人企画)

「新鮮力」、抱負を語る

近藤
華さん

Kondo Hana



「全て自分のため、成長させてもらっていると思い、感謝の気持ちを持ち、前向きに頑張っていきたい」

今 回、発表の機会をいただき、本当に、たくさんの人への感謝の気持ちに気付くことができました。最初この役をいただいたとき、本当に私でいいのか不安に思いました。成績が良いわけでもなく、どちらかと言えば生意気なことをしてきたことの方が多かったように思います。

こんな私ですが、今日、この日を迎えることができたのは、今まで支えてくれた人たちのおかげだと気づきました。

私は、中学から高校、短大と8年間ソフトボールを続けてきました。楽しい思い出もたくさんありますが、それと同じくらい、つらく、苦しい思い出もたくさんあります。故障して体が思うように動かず、気持ちばかり焦ってもどかしくなったり、人間関係で悩み好きだったソフトボールが嫌いになってしまった時期がありました。

ここまで続けてこられたのは、本音を語り合え、楽しいときは一緒に笑い、辛いときは一緒に悩んでくれる友達、わが子のように叱り、かわいがってくれる先生、コーチ、保護者の方々、そして一番近くで見守り、いつも味方であってくれる母の存在があったからだと思います。

ソフトをして、何をするにも、「あれだけしんどい練習に耐えられたんだから次も頑張れるはず!」といつも自分の背中を押してくれる自信と、何より今まで支えてくれた人たちのおかげでここまで頑張れたんだという感謝の気持ちを持って生活できるようになりました。

短大卒業後は親元を離れて生活することになります。今家において当たり前のようにしてもらっていることは春からは、全て自分でしなければなりません。壁にぶつかるとき、悲観的にならず、全て自分のため、成長させてもらっているんだという感謝の気持ちをもち、前向きに頑張っていきたいです。

今日、この舞台でお話しできたことは、また一つ、私にとつて大きな自信になりました。今の自分を見つめ直すことができ、今後どうしていきたいか考える機会にもなり、やって良かったと思っています。

これからもいろんなことに挑戦し、少しずつ成長していきたいと考えています。

最後になりましたが、本日私たちのためにこのような成人式を開いてくださいましたことに心からお礼を申し上げます。



松原 慎吾さん

Matsubara Shingo

「恩返しのためにも、将来は、生まれ育った地元に戻り、教員になり、地域に貢献していきたい」

本

日は、成人を迎えた私たちの門出に対し、このような盛大な成人式を催していただき、誠にありがとうございます。また、ご出席いただきましたご来賓の皆さまに心よりお礼を申し上げます。

私は、今、教員になるという目標を持ち、大学に通っています。教員を目指すようになった理由は、中学校で多くの熱心で、信頼できる先生方に出会い、あのように生徒と関わる仕事をしてみたいと思っただけです。

大学で専門的に教育について学ぶようになった今、改めて教員になりたいという気持ちが強くなりました。

私は、大学に入る前、倉吉東高校の専攻科で1年間学んできました。

受験1年目が入ることのできる大学など全くなかった私が大学に入れたのは、県民の皆さまの協力で運営されている専攻科のおかげです。

その恩返しのためにも、将来は生まれ育った地元に戻り、教員になり、地域に貢献していきたいと思っています。しかし、大学に合格したこと目標を達成したような気持ちになっしまいました、今までの緩んだ大学生活を送ってきました。

この成人式のあいさつの話をいただいた時、こんな生活を送っている自分ではないのだろうかとも思いました。けれども、それと同時に、今までの生活を振り返ってみると、ここまで育ててくれた両親、先生方、仲間たちなど多くの人たちの存在も感じました。

二十歳になった今、このような人たちが、私に寄せてくださった温かい思いを胸に、夢に向かって努力していこうという思いを新たにしました。成人式を迎えることで、自身自身の意識は変わらなくても、周囲からは一人の大人として見なされるようになるでしょう。

私自身、学生という身分であるため、日々の生活で精一杯という状況ですが、大人として自覚をもった言動、行動に努めたいと思います。

また、ここまで多くの人たちに支えられてきました。その人たちに感謝の気持ちを伝えることが、まず二十歳の私たちにできることなのではないかと考えます。

「新鮮力」へのメッセージ

これまで、新成人の皆さんのことを、たくさんの方が温かく見守ってきました。家族や友人、学校の先生や地域の人も。

今回、成人式にあたり、倉吉市で活躍される各分野の先輩方から新成人にお祝いのメッセージが寄せられました。

家族から一



新成人の保護者代表
高橋 義博さん
(成人式でのメッセージから)

成人おめでとうございます。成人を迎えた皆さんは、社会人として働いている方、学生の方、もう結婚してお母さん、お父さんになつていらっしゃる方、これからどんなことにチャレンジしてみようかと考えている方、さまざまな状況でこの成人式に臨まれたことと思います。

皆さんは、二十歳になって、これからは、自分の意思で行

動を決めていかなければならないのですが、自分の行動には責任が伴ってきます。社会の一員として、義務や大人のマナーというものをよく考えてもらいたいと思います。

これからの人生は、皆さんが自ら進んで切り開いていかなければいけないことばかりです。いろいろな壁や挫折もあると思います。そのような状況でも、皆さんなら高い志

学校から一

倉吉市教育長
福井 伸一郎さん



成人おめでとうございます。文字どおり、人として生まれ、さまざまな学習や体験を積み重ね、「人と成った」ことを喜びたいと思います。

人は、ふるさとの山に何か崇高なもの、畏敬の念を覚えます。明治時代の歌人石川啄木もその一人で、次のようにふるさとの山を詠んでいます。「汽車の窓はるかに北に 故郷の 山見えくれば襟を正すも」

「襟を立てる」では？」(笑)そんな生徒もいましたが、「襟を正す」とは、自己の乱れた衣服や姿勢を整えること、それまでの態度を改めて心を引き締めることです。啄木は、ふるさとの山に恥ずかしくない生き方をしようと決意しています。

成人式の朝、倉吉の象徴である打吹山は、真新しい雪を被っていました。

「初雪や 心新たに山拝む」

自分という人間、家庭を大切に、わがふるさと倉吉、そして、わが国を支える人となってほしいと思います。



や希望を持って歩み、これからの社会を、自分で築き上げていくことができると思っています。

私は、皆さんと同じころを思い出し、「あの時、やっていれば良かった」、「どうして、していなかったのか」と、いまだに後悔することがあります。やらなかったというのは、自分からは何もなかったことだと思っただけ反省していません。皆さんには、そのような後悔の気持ちを、持つてほしくありません。

皆さんは、これからいろいろなことに挑戦することができ、必ず成し遂げることができるのです。

いつでも挑戦をして、夢をたくさん見つけてください。何もしていないのに「絶対無理」「もう無理」ということはないのです。

そして、これから多くの人と出会うことになり、その出会いが、自分の世界や、可能性を広げていくことになっていくはず。ぜひその出会いを大切にしてください。一期一会です。

また、家に帰ってから、家

族に、自分が生まれた時のことを聞いてみてください。皆さんがここまで立派に成長できたのは、家族や周りの方が、愛情を注ぎ温かく見守ってくれたからです。生まれた時からずっと、健やかに成長することをみんなが願っています。お母さんは、お産をする時は、大変だったと思いますが、「生まれてきてくれてありがとう」という気持ちだったと思います。

皆さんも、感謝の気持ちをいつまでも忘れないでください。

最後に、生まれ育った倉吉、ここふるさと倉吉を忘れないでほしいと思います。私としては、ふるさとにぜひ帰ってきて、ここ倉吉を、どこにも負けない地域に盛り上げてほしいと願っています。しかし、仕事や結婚などで、どうしても倉吉を離れることになる方もあると思います。ふるさとを離れても、心の中には、いつでも倉吉を思い出してください。ふるさととは本当にいいものです。

皆さんのこれからの人生に、幸多かれと祈念して保護者を代表してメッセージを贈ります。

行政から一

倉吉市総合政策室
(若者定住担当)

木藤 隆親さん



成人おめでとうございます。

倉吉市では、4月から「暮らしよし」ふるさとビジョン(第11次倉吉市総合計画)がスタートします。

この計画には、「誇りと夢を持って住み続けることができる倉吉、もっと好きになる倉吉をともに創っていこう」というメッセージが込められています。

現在、倉吉市内の若者の4人に1人が市外・県外に転出しています。「倉吉は何もないけえ」という言葉を聞くこともありますが、市役所、NPO法人、事業者、自治公民館などのさまざまな団体が、「暮らしよし」を楽しみ、ふるさとの魅力をアップするイベントなどをたくさん行っています。そして、一緒に取り組んでいく若いスタッフを求めています。

「倉吉には、魅力がこんなにいっぱいある」という言葉をたくさん聞くことができるように、そして、少しでも多くの方が、倉吉市に住み続けたい、戻って来たいと思えるように、そんな魅力ある倉吉を一緒につくっていきましょう。

さあ、Let's 参画!

経済界から一

倉吉商工会議所 会頭

倉都 祥行さん



新成人の皆さん、おめでとうございます。

皆さんは、大学や専門学校で学んでいる方、あるいは既に社会人として活躍されている方など、それぞれの将来へ夢を抱き、目的に向かって進みながら新成人になられた方ばかりだと思います。

ご承知のとおり、地域の経済や雇用情勢は本当に厳しい状況にあります。しかし、このような中にあっても当地域では本年、中部の玄関口としてJR新倉吉駅が完成し、悲願であった「北条湯原道路」も明るい見通しが立つなど、産業の振興や地域の活性化に結び付く大きなチャンスも訪れており、波及効果が期待される所です。

これからの地域や企業の発展は、皆さんの若い力により実現するものだと言って過言ではありません。

どうか、生まれ育った倉吉に誇りと愛着を持ち、若い力と柔軟な発想力をもって、新しい時代を創造するため、大きく飛躍されることを心から期待申し上げます。

「新鮮力」、集合！

～懐かしい友人、近所のあの子は、見つかりましたか？～



河北中学校区



東中学校区



西中学校区



久米中学校区



鴨川中学校区

取材を終えて



毎年、成人式の取材には気合いが必要だ。正直言って、新年最初の取材としてはキツいと思う。それぐらい、新成人の熱気に圧倒される。「自分の半分ぐらいしか生きていないひよっ子に、何を気後れるのか」と自分を鼓舞してみるが、会場に集まる新成人が発する「若さのエネルギー」は、その気合いを瞬時に萎えさせるほど強大だ。「このエネルギーを発電に利用できたら相当な電力になるのではないか」と真顔で言う人がいたが、全くそのとおりだと思う。それぐらい、若者の存在には、まぶしく、圧倒的なパワーがある。発電は無理でも、倉吉のまちづくりには、ぜひ生かしてもらいたい。

成人式は、二十歳を迎えた若者を市を挙げて祝福する場。それと同時に新成人が大人としての自由と責任について自覚する場でもある。

自分と関わるすべての人に「感謝」し、互いを気遣い、受け入れる広い「度量」を持ち、大人としての「自覚」を忘れずに、それぞれが目指す夢へと歩んでいってほしい。

同じ倉吉を「ホーム」に持つ先輩として、その若さを少しばかりうらやましく思いつつ、未来が今と変わらず輝かしいものであるよう願っている。